



# 学校だより

5月 

令和4年4月27日  
横浜市立本宿小学校

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/honjuku/>

『学び』を使って、『 』のエネルギーをためる（副島准教授）

校長 松比良 聡夫

表題の『 』の中には、どんな言葉が入るでしょうか？昭和大学病院で院内学級を担当されている副島 賢和（そえじま まさかず）准教授のご講演で、「病気で入院している子どもたちは、院内学級に来て学ぶことで、エネルギーをためている」という内容のお話を伺いました。病室から院内学級に来ることで『患者から子ども』に戻り『受け身から解放されて主体性を回復』するそうです。そして、『わかった』『できた』『感情を表現できた』などの『学び』により、生き生きと意欲が湧きエネルギーをためるということでした。

このお話を聞いて、院内学級に限らず、全ての子どもも、大人も同じだと思いました。学ぶことで、自尊感情を得られ、自信をもつことができ、希望や活動意欲が湧いてきます。そんなとき『楽しい』と感じるのではないのでしょうか。

表題の『 』には、『更に学ぶ』『活動する』『人と関わる』『病気と闘う』『自分の弱さと闘う』等々、様々な言葉が入りそうですが、まとめると『生きるため』となるのではないかと私は思いました。



本宿小学校の子どもたちが主体的・対話的な『学び』により様々な『エネルギー』をためられるように、私たち教職員も『学び』続けて、支援して参ります。引き続きご理解・ご協力を宜しくお願い申し上げます。